Panasonic

操作説明書

AV-HS6000 Series
Plug-in ソフトウェア

JAPANESE

W0615HM0 -PS

VQT5L79

目次

はじめに

2MEライブスイッチャーAV-HS6000 シリーズでは、プラグインソフトウェアを登録して機能を追加できます。プラグインソフトウェアとしては以下のものを準備しております。

- AUX_IP[*1]：ネットワークで接続したリモートコントロールパネル（Venetex社製のVS-R45）から、AUX出力素材が選択できます。
- GVG200[*1]：GVG200 プロトコル準拠の機器を、本製品のシリアルポート（RS-422）に接続して、制御できます。
- TALLY[*1]：TSL UMD Protocol V3.1 に対応したシリアル通信フォーマットで、タリー情報が出力できます。
- P2_Control：P2機器などをシリアル通信フォーマット（RS-422）で接続し、記録や再生などの制御を行うことができます。
- External_Control：ネットワークに接続した外部機器との間で、バスの切り替えや素材名情報の送受信ができます。また外部機器からのSourceLink設定（Master/Slave）の切り替えが可能です。

*1）システムバージョン1.XX では、プレインストールされていました。

登録・起動の設定

トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[PLUGIN Maint]→[Configuration]/[Load]タブで、プラグインソフトウェアの登録、削除、起動を設定できます。詳しくはAV-HS6000シリーズ取扱ガイドを参照ください。

注意：

1) プラグインソフトウェアの登録・起動の設定は本体ソフトウェア V2.00.00 以上で有効になる機能です。V2.00.00 未満では本プラグインソフトウェアは登録できません。
2) 本プラグインソフトウェアの起動は本体ソフトウェア V3.00.00 以上で有効となります。V3.00.00 以前の本体ソフトウェアバージョンに登録をおこなっても本プラグインソフトウェアは起動しません。プラグインが正常に起動されているかは、プラグインのメニューが表示されているかで判別できます。
3) 同プラグインソフトウェアを複数登録しての使用はできません。旧バージョンを含む同プラグインソフトウェアがすでに登録されている場合は、登録済みのプラグインソフトウェアを削除した後に本プラグインソフトウェアの登録をおこなってください。
4) 起動設定“Enable on boot”が“ON”の状態で AV-HS6000 メインフレームの電源再起動後にご使用下さい。

AUX_IP(V3.XX)

<概要>

本ソフトウエアは、2MEスイッチャーAV-HS6000シリーズ用のプラグインソフトウエアです。ネットワークで接続したリモートコントロールパネル（Venetex社製のVS-R45）から、以下のバスの選択できます。

- AUX 出力
- 各 ME の PGM,PVW
- 各 ME の KEY1～KEY4 の Fill と Source
- 各 ME の UTIL1/2 出力
- DSK1～DSK4 の Fill と Source
- DISP と VMEM の Fill と Source

「PGM/PVW」ボタンでは、

VS-R45のバス切り替え名称のAUX1～AUX4にAV-HS6000のAUX1～AUX16バスのいずれかを設定した場合、VS-R45の「PGM／PVW」ボタンを押下することで、設定しているAUXバスのクロスポイントをDSK PGM1／DSK PVW1に切り替えることができます。

「AUTO」ボタンでは、

・VS-R45 のバス切り替え名称の KEY、PinP1、PinP2、DSK1、DSK2 に AV-HS6000 の ME1KE1～KEY4、ME2KEY1～KEY4、DSK1～4 の Fill か Source バスのいずれかを設定した場合、VS-R45 の「AUTO」ボタンを押下することで、設定しているキーバスのキーON/OFF トランジションを行うことができます。

・VS-R45 のバス切り替え名称の AUX1 に AV-HS6000 の AUX1～AUX4 のいずれかを設定した場合、VS-R45 の「AUTO」ボタンを押下することで、設定している AUX バスのトランジション ON/OFF の設定ができます。

・VS-R45 のバス切り替え名称の PGM/A、PST/B に AV-HS6000 の ME1PGM、ME1PVW、ME2PGM、ME2PVW のいずれかを設定した場合、VS-R45 の「AUTO」ボタンを押下することで設定している ME の BKGD AUTO トランジション動作を行うことができます。

＊PGM/A と PST/B に別々の ME が設定されている場合は、PST/B に設定されている ME の BKGD AUTO 動作となります。

<準備>

VS-R45 をLAN ケーブルでAV-HS60U1/AV-HS60U2背面のLAN端子に接続します。

一つのプラグインで6台のVS-R45に対応してます。複数のVS-R45と接続する場合はHUBで分配して接続します。VS-R45は、AV-HS450用の設定にしてください。

<設定>

1. AUX_IP プラグインが登録されている番号のメニューを表示します。
   ・トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[Plugin 1-6]→[AUX_IP]タブを選択します。
2. AUX_IP プラグインのネットワークを設定します。
   ・Port No コラムで本機の受信ポート番号を設定します。“60020”固定です。
3. VS-R45 の IP アドレス設定
   [AUX_IP IP Address1]～[AUX_IP IP Address3]コラムで、接続される 6 台分の VS-R45 の IP アドレスを設定します。
   本メニューで設定した IP アドレスに対応する VS-R45（AUX_IP1～6)各々に対して、Convert1～11 の VS-R45 のバス切替え名称に対応するコラムと AUX XPT1～32 を、本機の AUX バスと素材に関連付けます。

4. Convert1～Convert11 の VS-R45 のバス切替え名称に対応するコラムは、6 台の VS-R45（AUX_IP1～AUX_IP6）それぞれに設定します。AUX_IP コラムで対象とする AUX_IP1～6 を設定し、Convert1～11 の VS-R45 のバス切替え名称に対応するコラムで AV-HS6000 のバスを設定します。

AV-HS6000 バス	アサイン候補
AUX	No Assign,AUX1～16
ME1	No Assign,PGM,PVW,KEY1 F,KEY1 S～KEY4 F,KEY4 S,UTIL1,UTIL2
ME2	No Assign,PGM,PVW,KEY1 F,KEY1 S～KEY4 F,KEY4 S,UTIL1,UTIL2
DSK	No Assign,KEY1 F,KEY1 S～KEY4 F,KEY4 S
Other	No Assign, DISP,VMEM F,VMEM S

XPT ASSIGN1～XPT ASSIGN32 コラムは、6 台の VS-R45（AUX_IP1～AUX_IP6）それぞれに設定します。AUX_IP コラムで対象とする AUX_IP1～6 を設定し、XPT ASSIGN1～XPT ASSIGN32 コラムで、VS-R45 のクロスポイントボタンに対応する素材を設定します。

AV-HS6000 素材	アサイン候補
Input 1-20	No Assign, SDI IN1～SDI IN20
Input 21-32	No Assign, SDI IN21～SDI IN32,DVI IN1,DVI IN2
Internal Source	No Assign, Still 1V,Still 1K,～Still 4V,Still 4K,Clip 1V,Clip 1K,～Clip 4V,Clip 4K, CBGD 1,CBGD 2,CBAR,Black
MEOut	No Assign, ME1PGM, ME1PVW, ME1CLN, ME1KEYPVW, ME2PGM, ME2PVW, ME2CLN, ME2KEYPVW, DSKPGM1, DSKPGM2, DSKPVW1, DSKPVW2, DSK1CLN～DSK4CLN, SEL_KEYPVW
MV	No Assign,MV1,MV2,MV3,MV4

GVG200(V3.XX)

<概要>

本ソフトウエアは、2MEスイッチャーAV-HS6000シリーズ用のプラグインソフトウエアです。GVG200プロトコル準拠の機器を、本製品のシリアルポート（RS-422）に接続して、下記の制御を行います。

- バスの切替え
- ボタントリガー（プッシュボタンコントロール）
- パターン切替え
- トランジション設定

<準備>

AV-HS60U1/AV-HS60U2 背面のCOM1～COM4ポートにGVG200プロトコル準拠の機器を接続します。ピンアサインはAV-HS6000シリーズ取扱ガイドを参照ください。

<設定>

1. GVG Protocol プラグインの登録されている番号のメニューを表示します。
   ・トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[Plugin 1-6]→[GVG200]タブを選択する。
2. Setting コラムでシリアル通信の設定を行います。

Port項目	メインフレームのCOMポート MF-COM1～MF-COM4を選択します。

*1)通信設定（固定）: 8 bit data, 1 stop, odd parity, 38k4 baud
*2)他のプラグインで使用している COM ポートを設定しないでください。

<GVG200 プロトコル>

1. 概要
   - 本通信では、GVG200 プロトコルに準拠しています。
   - ライトコマンドに対する応答は、次の 2 バイトです。
     0x0180: ACK 応答
     0x0140: NAK 応答
   - リードコマンドに対する応答は、ライトコマンドのフォーマットを使用します。
   - ブレイクコマンド（ブレイク信号）
     AV-HS6000 シリーズでは、ブレイクコマンドがなくても各コマンドが受信可能です。
2. バスの切替
   - Crosspoint Bus Command（ライトコマンド）

   PGM、PVW などのバスの素材を選択します。

Switcher Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
Program Bus	03	ME1:01 ME2:02	C1	Crosspoint#
Preset Bus	03	ME1:01 ME2:02	C2	Crosspoint#
Key1 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	C3	Crosspoint#
Key2 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	C4	Crosspoint#
Key3 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	D1	Crosspoint#
Key4 Bus(Fill)	03	ME1:01 ME2:02	D2	Crosspoint#
DSK1 Bus(Fill)	03	00	C1	Crosspoint#
DSK2 Bus	03	00	C2	Crosspoint#
DSK3 Bus	03	00	C3	Crosspoint#
DSK4 Bus	03	00	C4	Crosspoint#
AUX1 Bus	03	07	C1	Crosspoint#
～	～	～	～	～
AUX16 Bus	03	07	D0	Crosspoint#

● Crosspoint Bus Command（リードコマンド）

PGM、PVW などのバスの素材の選択状態を取得できます。

Switcher Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
Program Bus	02	ME1:01 ME2:02	41	－
Preset Bus	02	ME1:01 ME2:02	42	－
Key1 Bus(Fill)	02	ME1:01 ME2:02	43	－
Key2 Bus(Fill)	02	ME1:01 ME2:02	44	－
Key3 Bus(Fill)	02	ME1:01 ME2:02	51	－
Key4 Bus(Fill)	02	ME1:01 ME2:02	52	－
DSK1 Bus(Fill)	02	00	41	－
DSK2 Bus(Fill)	02	00	42	－
DSK3 Bus(Fill)	02	00	43	－
DSK4 Bus(Fill)	02	00	44	－
AUX1 Bus	02	07	41	－
～	～	～	～	～
AUX16 Bus	02	07	50	－

<Crosspoint#>

Crosspoint#	Source	
00h～1Fh	SDI IN1～32	
20h～21h	DVI IN1～2	
30h	Still1V	
31h	Still1K	
32h	Still2V	
33h	Still2K	
34h	Still3V	
35h	Still3K	
36h	Still4V	
37h	Still4K	
40h	Clip1V	
41h	Clip1K	
42h	Clip2V	
43h	Clip2K	
44h	Clip3V	
45h	Clip3K	
46h	Clip4V	
47h	Clip4K	
50h	Color Bar	
51h	Color BackGround1	
52h	Color BackGround2	
53h	Black	
60h	ME1PGM	*1
61h	ME1PVW	*1
62h	ME1CLN	*1
63h	ME1KEYPVW	*1

Crosspoint#	Source	
64h	ME2PGM	*1
65h	ME2PVW	*1
66h	ME2CLN	*1
67h	ME2KEYPVW	*1
68h	DSKPGM1	*1
69h	DSKPGM2	*1
6Ah	DSKPVW1	*1
6Bh	DSKPVW2	*1
6Ch	DSK1CLN	*1
6Dh	DSK2CLN	*1
6Eh	DSK3CLN	*1
6Fh	DSK4CLN	*1
70h	SEL_KEYPVW	*1

*1：AUX バスのみで選択できます。

3. ボタントリガー（プッシュボタンコントロール：Transition Pushbutton Select Command）
パネル上のボタン押下と同じ動作（On 状態であれば Off にトランジション、Off 状態であれば On 状態にトランジション）をします。

Switcher Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
Auto	03	ME1：01 ME2：02	FB	1B
Cut	03	ME1：01 ME2：02	FB	1C
DSK1 Trans	03	00	FB	18
DSK2 Trans	03	00	FB	19
DSK3 Trans	03	00	FB	1A
DSK4 Trans	03	00	FB	1B
KEY1 Trans	03	00	FB	20
KEY2 Trans	03	00	FB	21
KEY3 Trans	03	00	FB	22
KEY4 Trans	03	00	FB	23
FTB	03	00	FB	1F

4. パターン切替（ワイプパターンセレクト：Wipe Pattern Select Command）
BKGD のワイプパターンを選択します。

Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
Wipe Pattern	03	ME1：01 ME2：02	C8	Wipe No#

Wipe No は、AV-HS6000 シリーズメニュー表示のワイプパターン画面の各ワイプパターンアイコンに表示されている番号になります。

5.　トランジション設定

- トランジションモード（Transition Mode Control Command）

トランジション対象（BKGD,KEY1-4）を選択します。

Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
Transition Mode Control Command	03	ME1:01 ME2:02	CA	Mode Byte

Mode Byte

Bit 7 (MSB)	Don't Care
Bit 6	Don't Care
Bit 5	Don't Care
Bit 4	0=KEY4 未選択、1=KEY4 選択
Bit 3	0=KEY3 未選択、1=KEY3 選択
Bit 2	0=BKGD 未選択、1=BKGD 選択
Bit 1	0=KEY1 未選択、1=KEY1 選択
Bit 0 (LSB)	0=KEY2 未選択、1=KEY2 選択

- Auto トランジション時間（Transition Rate Control Command）

BKGD,KEY･DSK,AUX トランジション時間を設定します。

Function	Byte Count	Effects Address	Command Code	Message
BKGD,KEY1-4	05	ME1:01 ME2:02	CC	Rate Bytes
DSK1-4	05	00	CC	Rate Bytes
AUX1-4	05	07	CC	Rate Bytes

トランジション時間は、0-999 フレームが指定できます。
BKGD,KEY1-4 のコマンドですべて未選択の場合は、すべて選択（BKGD,KEY1-4）とします。

Rate Bytes

Byte1：指定対象と時間の百の位を表します。

Bit 7 (MSB)	0=時間変更のみ（固定）
Bit 6	0=BKGD 未選択、1=BKGD 選択
Bit 5	KEY1/DSK1/AUX1　0=未選択、1=選択
Bit 4	KEY2/DSK2/AUX2　0=未選択、1=選択
Bit 3～Bit 0 (LSB)	時間の百の位 0-9 (0000～1001)

Byte2：指定対象と時間の十の位を表します。

Bit 7 (MSB)	Don't Care
Bit 6	Don't Care
Bit 5	KEY3/DSK3/AUX3　0=未選択、1=選択
Bit 4	KEY4/DSK4/AUX4　0=未選択、1=選択
Bit 3～Bit 0 (LSB)	時間の十の位 0-9 (0000～1001)

Byte3：指定対象と時間の一の位を表します。

Bit 7 (MSB)	Don’t Care
Bit 6	Don’t Care
Bit 5	Don’t Care
Bit 4	Don’t Care
Bit 3～Bit 0 (LSB)	時間の一の位 0-9 (0000～1001)

TALLY(V3.XX)

<概要>

本ソフトウエアは、2MEスイッチャーAV-HS6000シリーズ用のプラグインソフトウエアです。TSL UMD Protocol V3.1 に対応したシリアル通信フォーマットでタリー情報とSource ID情報が出力できます。
ID71から86と98,99,102,103,114,115,116,117については、該当のバスで選択されている素材の素材名を付与して送信させることが可能です。選択素材名の付与はプラグインメニューにて可能です。

<準備>

AV-HS60U1/AV-HS60U2 背面のCOM1～COM4ポートのいずれかにタリー装置を接続します。ピンアサインはAV-HS6000シリーズ取扱ガイドを参照ください。

<設定>

1. TALLY プラグインの登録されている番号のメニューを表示します。
   トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[plugin 1-6]→[TALLY]タブを選択する。
2. Port Setting コラムでシリアル通信の設定を行います。

Port項目	メインフレームのCOMポート MF-COM1～MF-COM4を選択します。
Timing項目	再送信の間隔を1sec～10secで設定します。

   *通信設定(固定): 8 bit data, 1 stop, even parity, 38k4 baud
3. Status コラム、Tally コラムで、TSL UMD V3.1 の ID を指定すると送信データを確認できます。
   Status コラム

ID項目	TSL UMD v3.1のIDを0～126から設定します。
Source ID項目	指定したID項目に対応するSource IDを表示します。
Source Name項目	指定したID項目に対応するSource Nameを表示します。

   *ID71 以降の素材については、User で指定した Source Name は反映されません。
4. Tally コラム

Tally1～Tally4項目	指定したID項目に対応するTally Group1～Tally Group4のタリー情報を表示します。
Test項目	Onにすると指定したID項目のTally1～Tally4情報を強制的にOnにして送信します。

5. Reentry Display コラムで、該当バスで選択されている素材の素材名付与 ON/OFF を行います。

PGM/PVW項目	OffにするとID98,99,102,103,114,115,116,117のバスで選択されている素材の素材名を付与しません。
AUX項目	OffにするとID71から86のバスで選択されている素材の素材名を付与しません。

   *Default 設定は ON です。

<TSL UMD V3.1 Mapping>

Header (1 byte) ID(0～126) +80h	ID(0～126)	Source ID
	0	–
	1–32	SDIIN1–32
	33–34	DVIIN1,2
	35–50	–
	51	CBGD1
	52	CBGD2
	53	CBAR
	54	Black
	55–62	Still1–4V/K
	63–70	CLIP1–4V/K
	71–86	AUX1–16–“選択素材の Panel Name” 選択素材名は MENU での ON/OFF が可能
	87–97	–
	98	ME1PGM–“選択素材の Panel Name” 選択素材名は MENU での ON/OFF が可能
	99	ME1PVW–“選択素材の Panel Name” 選択素材名は MENU での ON/OFF が可能
	100	ME1CLN
	101	ME1KEYPVW
	102	ME2PGM–“選択素材の Panel Name” 選択素材名は MENU での ON/OFF が可能
	103	ME2PVW–“選択素材の Panel Name” 選択素材名は MENU での ON/OFF が可能
	104	ME2CLN
	105	ME2KEYPVW
	106–113	–
	114	DSKPGM1–“選択素材の Panel Name” 選択素材名は MENU での ON/OFF が可能
	115	DSKPGM2–“選択素材の Panel Name” 選択素材名は MENU での ON/OFF が可能
	116	DSKPVW1–“選択素材の Panel Name” 選択素材名は MENU での ON/OFF が可能
	117	DSKPVW2–“選択素材の Panel Name” 選択素材名は MENU での ON/OFF が可能
	118	DSK1CLN
	119	DSK2CLN
	120	DSK3CLN
	121	DSK4CLN
	122	SEL_KEYPVW
	123–126	MV1–4
Control (1 byte)	Bit0：Tally Group1 (1=On,0=Off) Bit1：Tally Group2 (1=On,0=Off) Bit2：Tally Group3 (1=On,0=Off) Bit3：Tally Group4 (1=On,0=Off) Bit4：1 Bit5：1 Bit6：0 Bit7：0	
Display Data (16 byte)	マルチビューディスプレイ表示の素材名	

P2_Control(V3.XX)

<概要>

本ソフトウェアは、2MEスイッチャーAV-HS6000シリーズ用のプラグインソフトウェアです。弊社製品のP2機器などをシリアル通信フォーマット（RS-422）で接続し、記録や再生などの制御をAV-HS6000から行うことができます。

<準備>

AV-HS60U1/AV-HS60U2背面のCOM1～COM4ポートのいずれかにP2機器を接続します。ピンアサインはAV-HS6000シリーズ取扱ガイドを参照してください。
一つのプラグインに対して接続できるP2機器は1台のみです。本プラグインを4つ登録し、COM1～COM4にP2機器を接続することで最大4台までの制御が可能です。
COM4を使用する場合は、＜SYS＞ボタン→[PERIPHERAL]→[General]タブ→[MF COM4]コラムのMaster/SlaveをMasterに設定してください。

<設定>

1. P2_Control プラグインが登録されている番号のメニューを表示します。
   トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[Plugin #-#]→[P2_Control]タブを選択します。
2. Port Setting コラムの Port で P2 機器を接続するメインフレームの COM ポートを設定します。
   他のプラグインで設定されている COM ポートと重複しないように設定をしてください。
   他のプラグインと COM ポートが競合している場合は、Port Setting コラムの Connection に"conflict"が表示されます。競合していない場合は"good"が表示されます。

<機能>

1. Status コラムでは、接続されている P2 機器の状態が確認できます。

Remote項目	Remote 表示	P2機器がremoteに設定されています。AV−HS6000からの制御が可能です。
	Local 表示	P2機器がlocalに設定されています。AV−HS6000から制御ができません。
	--- 表示	P2機器の電源が入っていないか機器と接続されていません。
Operate項目	接続されているP2機器の現在の動作を表示します。	

2. Operation コラムでは、接続されている P2 機器の制御を行うことができます。

REW	巻き戻し
STOP	録画の停止、再生の停止
FF	早送り
PLAY	再生開始
PAUSE	再生の一時停止
REC	録画開始
REC PAUSE	録画の一時停止

※P2 機器に保存されている制御対象となるファイルは、あらかじめ指定されている必要があります。

External_Control(V3.XX)

<概要>

本ソフトウェアは、2MEスイッチャーAV-HS6000シリーズ用のプラグインソフトウェアです。ネットワークに接続したシステムコントローラーやタリーインターフェースなどの外部機器との間で、AV-HS6000全てのバスの素材切り替えや素材名情報の送受信ができます。また外部機器からのSourceLink設定（Master/Slave）の切り替えが可能です。

TSL UMD Protocol V5.0 に対応した通信フォーマットでタリー情報とSourceID情報の送受信が可能です。
弊社製品のリモートカメラコントローラーAW-RP120 と IP 接続することにより、RP120 カメラセレクトによる AV-HS6000 バスの素材切り替えや Tally 情報送信、フォーカスアシストや素材名の取得が可能です。
※制御バスの設定などは AW-RP120 の取扱説明書を参照して下さい。

<準備>

外部機器をLAN ケーブルでAV-HS60U1/AV-HS60U2背面のLAN端子に接続します。
一つのプラグインで20系統の接続IPに対応しています。複数の外部機器と接続する場合はHUBで分配して接続します。IPは重複しないように設定してください。
AV-HS6000のネットワーク設定は＜SYSTEM＞ボタン→[SYSTEM]→[NetWork]タブで確認します。
初期値はIP Address：“192.168.0.5”、Subnet Mask：“255.255.255.0”です。

<設定>

1. External_Control プラグインが登録されている番号のメニューを表示します。
   ・トップメニューの<PLUG IN>ボタン→[Plugin #-#]→[External_Control]タブを選択します。
2. External_Control プラグインのネットワークを設定します。
   ・Switcher1 コラムの Receive Port No.で本機の受信ポート番号を設定します。
   初期設定は“62000”です。設定可能範囲は“62000”～“65535”です。
   ・Switcher2 コラムの Transmission Interval でコマンド送信間隔の設定をおこないます。
   初期設定は“16ms”です。設定可能範囲は 16ms ステップで“0ms”～“80ms”です。
3. 外部接続機器の IP アドレス設定。
   [AUX Panel1]～[AUX Panel10]コラムの IP Address1-20 で、接続される外部機器の IP アドレスを設定します。
4. [AUX Panel11]コラムの Receive Port No.で外部接続機器の受信ポート番号を設定します。
   初期設定は“65000”です。設定可能範囲は“60000”～“65535”です。
   リモートカメラコントローラーAW-RP120 と接続する場合は、60031 に設定します。
5. TSL UMD Protocol V5.0 コマンドの DMSG-CONTROL パラメータについて。
   RH タリー出力時は TallyGroup1 の設定が出力されます。
   TXT タリー出力時は TallyGroup2 の設定が出力されます。
   LH タリー出力時は TallyGroup3 の設定が出力されます。
6. コントロールパネルの素材名を変更させる場合は<CONF>ボタン→[SOURCE NAME]→[Panel Name]タブの各入力ソースコラムの Type を User に設定しておく必要があります。
   同様にマルチビュアーの素材名を変更させる場合も<CONF>ボタン→[SOURCE NAME]→[MV Name]タブの各入力ソースコラムの Type を User に設定しておく必要があります。
   外部からの素材名変更については個別の入力ソースに対しての変更はできません。
   User 設定されている素材に対しての一括変更となります。
   HS6000 メニュー上でも素材名は変更可能ですが、後に変更された情報が素材名に反映されます。

<コマンド仕様>

別紙 AV-HS6000 外部インターフェース通信プロトコル仕様書を参照して下さい。